教科目標

医療専門課程
言語聴覚士学科（昼間３年制）

養成目的

本学科は、医療・福祉・教育分野で重要な役割を担う言語聴覚士を養成するために、医学的知識に加えて、言語・聴覚・音声・嚥下など人間のコミュニケーションや食事に関するさまざまな知識・技術を身につける。さらに、専門職の一員としての協調性を身につけ、医療従事者として必要な倫理観、対象者に対する献身的・共感的態度を備え、即戦力として現場で働くことのできる柔軟な社会性、独自性、主体性を備えた人材を育成する。

教育目的（ミッション）

国家試験に合格するために必要な知識・技術について「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」を体系的、段階的に学ぶ。また、症例研究発表などを通して、言語聴覚士としての探究と創造、自ら主体性を持って学ぶ姿勢を身につけ、臨床的問題解決力を修得する。さらに、専門性の高い授業と、業界と連携した学外実習を実施することで、知識と技術の統合を促す実学重視の教育を行い、対人援助職としてふさわしい人間性豊かな言語聴覚士の育成を目指す。

養成目標（到達目標）

本学科では言語聴覚士として職務に携わるために必要な知識、技術および思考力・判断力を修得する。また、患者やその家族との信頼関係を築くことができる礼節・人間性・社会性を身につける。さらに、医療・福祉領域におけるチーム・アプローチの重要性を認識し、対象者の問題解決に向け専門職の一人として協働することができる人材を養成する。

取得目標資格

１．言語聴覚士（国家資格）
２．ビジネス文書技能検定
３．サービス接遇実務検定
４．ニュース時事能力検定

就職分野

病院（リハビリテーション科、耳鼻咽喉科など）、診療所、リハビリテーション関連施設、児童通園施設（肢体不自由、知的障がい）、社会福祉施設、保健所など。

職種

言語聴覚士